

## 見ごろ咲きごろ花さんぽ

赤山・安行を歩いていると、緑の多さに目を奪われます。植木農家や造園業者が並ぶ中、手入れされた庭を開放しているお家もあり、自然を取り入れたライフスタイルの一端がのぞけます。のどかな散歩道の途中でおみやげに新鮮野菜や草花を買えば、身も心もフル充電できそうです。

### 赤山～安行で見つけた緑たち (オープンガーデン)



プロの技が光る! 安行式オープンガーデン  
安行地区(9、10コース)では、植木・造園業者を中心としたオープンガーデンが公開されています。(約33か所) 詳細は、川口市造園業協会ホームページをご確認ください。ホームページURL:<https://www.kawazoukyo.jp/business/cooperate.html>



### 安行で見つけた季節の花たち



### 川口市周辺 アクセス図



### 川口市経済部産業振興課

T332-8601 川口青木2-1-1

電話: 048-259-9018 FAX: 048-258-1161



# 赤山・安行コース

## 歩き出せば、そこは江戸 花をめで、歴史をしのぶ

埼玉高速鉄道(SR)の開通で宅地化が進む赤山・安行地区ですが、ひとたび足を踏み入れると、季節ごとに色づく草花や、歴史遺産に出会えます。スタートはSR戸塚安行駅。県道から細い上り坂に入り、しばらく歩くと西福寺に。三重塔は木造建築物では県内一の高さを誇ります。竹林をくぐり外環道を抜けると赤山城跡にたどりつきます。関東郡代として民衆の篤い信頼を得た伊奈氏が160年以上住んでいた地で、歴史に思いをはせてみる。遠い昔の話だけれど、花の移ろいは今も同じ。脈打つような時の流れにうつりできるコースです。

### あかやまじょうあと B-2 赤山城跡

徳川幕府で12代にわたって関東郡代を務めた伊奈氏は寛永6年(1629年)、3代・忠治の時に小室(現在の北足立郡伊奈町)から赤山に居を移しました。これが赤山城で、以来163年間、伊奈氏の拠点となりました。現在も堀と土塁が一部残ります。県指定旧跡。



### C-3 花と緑の振興センター

開園は昭和28年(1953年)。植木・果樹などの生産出荷の指導、盆栽等の輸出振興などに努めています。約2.3ヘクタールの広さに約4,600本、2,000品種の植物を展示。四季おりおりの草花が楽しめます。9:00～16:30(10月～3月は16:00まで)、年末年始休、入園無料。



### D-3 金剛寺

曹洞宗の寺院で、領主の中田安斎入道安行が明応5年(1496年)に開基したと伝えられています。寺名は安行が金剛經を信奉していたことが由来。幕末の住持・觀道禪師が近くの住民に灸を施していたことから「お灸の寺」として知られ、現在も施術が行われています。



### さんもん 山門

門柱の前後に控柱を計4本立てた典型的な四脚門です。屋根は切妻造りの茅葺きで、棟飾りに地域的な特色がみられます。江戸時代初期の建立と考えられ、市指定文化財です。



### きょうづか 経塚

室町時代中期、中田安斎入道安行が諸靈の供養のため、一字一石經を埋めて築いたといわれています。川口では貴重な中世の史跡で市指定文化財です。



### C-3 興禪院

開創は室町時代と伝えられています。本尊の釈迦如来坐像は平安時代の定朝様式の流れをくむ優美な作風で、市指定文化財です。境内は広く、野鳥の森・ふるさとの森や、雑木林の中に安置された十三佛の石像が。枯れたことがないという湧き水も見どころです。



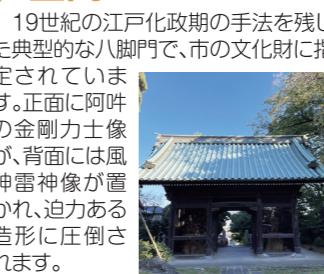
### D-2 慈林薬師宝巖院

開創は平安時代。本尊の不動明王は慈覚大師の作と伝えられています。もとでは京都の醍醐寺三宝院の末寺で、徳川時代には3代家光から30石を賜り、当時の安行村を中心に広く管轄権をもっていました。境内には薬師堂、不動堂、地蔵堂、仁王門などがあります。



### 薬師堂

天平13年(741年)、妻・光明皇后的病気平癒を願う聖武天皇の勅願で、行基がこの地に薬師仏を造ったのが起こりとされています。川口三薬師のひとつ。



### 仁王門

19世紀の江戸化政期の手法を残した典型的な八脚門で、市の文化財に指定されています。正面に阿吽の金剛力士像が、背面には風神雷神像が置かれ、迫力ある造形に圧倒されます。



## 赤山陣屋と関東郡代・伊奈氏

### 伊奈氏の系譜

伊奈家の初代・忠次(ただつぐ)は三河国(現在の愛知県)出身で、天正18年(1590年)、まだ天下を統一する前の徳川家康が関東に国替えするにあたり、家康から代官頭を命じられました。忠次は治水・灌漑(かんがい)事業や新田開発、検地の実施などに大いに手腕を發揮しました。寛永19年(1642年)、3代・忠治(ただはる)の時に関東郡代に任命され、荒川や利根川の改修などにあたりました。

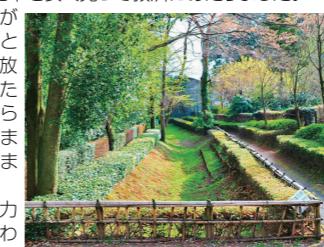
関東郡代とは、関東の天領(幕府の直轄地)で農政を担当する役人ですが、成立間もない江戸幕府にとって、天領からの年貢収入を増やし、財政基盤を確立することは非常に重要でした。そこで、すぐれた行政官が必要となり、忠次からの実績を持つ伊奈氏が選ばれました。

現在に至る関東地方の河川体系の基礎は、伊奈氏の大規模な整備によるもので、その卓越した技術は「伊奈流」とよばれ、近世の土木史上にその名を残しています。

### 自然の要塞・赤山陣屋

163年にわたって伊奈氏が拠点とした赤山陣屋は、本丸(御屋形)と二の丸だけで約11万平方メートル、周囲に広がる家臣の土地や菩提寺の源長寺(No.6コース参照)などを含めると、実に77万平方メートルにも及ぶ広大なものです。

陣屋は、周囲の自然の低湿地を外堀に利用し、その内側に人工の内堀をめぐらせていました。



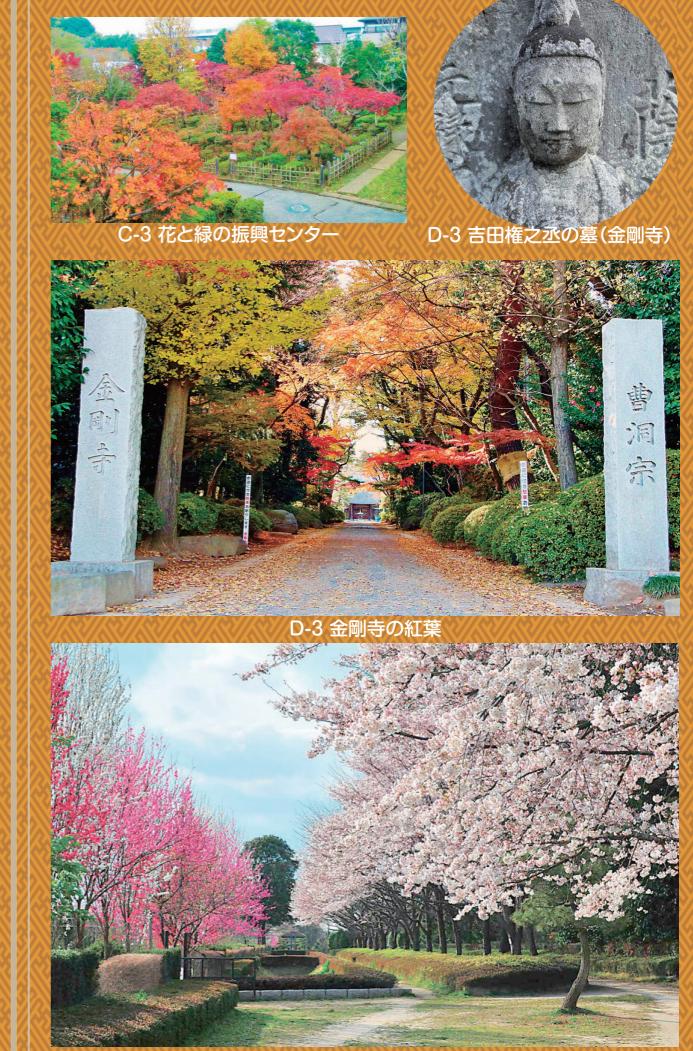
身も心も江戸時代  
花の安行歴史旅

## 赤山・安行 コース



川口市マスコット「きゅばらん」

## 川口市内観光 ルートマップ



## 身も心も江戸時代 花の安行歴史旅

# 赤山・安行 コース

No.9

スタートけ戸塚安行駅。  
花と緑に囲まれた、  
歴史の里を歩きます

SR 戸塚安行駅 (スタート)

10分 0.8km

百観音公園

14分 1.1km

赤山城跡

16分 1.3km

花と緑の振興センター

15分 1.2km

金剛寺

13分 1.1km

慈林薬師宝厳院

18分 1.6km

SR 新井宿駅 (ゴール)

所要 86 分 全長 7.1km

歩く時間は個人差がありますので、あくまで目安です

凡例

